

# ハンノキ通信

秋号

ハンノキ通信 秋号 平成 24 年 11 月発行  
 【発行・問い合わせ先】  
 あらかわ市民環境センター事務局  
 (国土交通省 荒川上流河川事務所 河川環境課内)  
 TEL : 049-220-0145 FAX : 049-247-9850  
 MAIL : 3biotop@ktr.mlit.go.jp

## 荒川ハンノキプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、ミツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクト。現在、川島町立出丸小学校、上尾市立太平中学校、川島こどもエコクラブの子どもたちが、種子から苗を育てて荒川に植えもどす取り組みを行っています。

## 秋の出前授業をお届けします！

各学校で2回目の出前授業がありました。  
 さて、環境サポーターのみなさんから、どのような話があったのでしょうか…。

## ナガコガネグモの卵のう 安孫子 繁子さん

卵が入っている袋のことを「卵のう」と言います。ナガコガネグモのメスは、秋に、お尻から出した糸で、まず膜をつくり、そこに卵を産みつけ、周りを糸でくるんで袋状にします。秋にはたくさん子グモがかえり、寒い冬の間は、この卵のうの中で過ごし、春に風に乗って旅立っていきます。



出丸小学校（5年生）

## カヤツリグサの大変身 甘浦 章さん

三角形の茎をしているカヤツリグサは、ある方法で四角形になります。さて、どうやるのかな？二人でカヤツリグサの茎の両端をもって、一人は三角の茎に対して縦に（▲）、もう一人は横に（▲）、両側からゆっくり裂いてごらん。ほら、四角形になったよ。



出丸小学校（6年生）

## 外来生物って、何が問題なの？ 菅間 宏子さん

外来生物は、日本にもともといる生きものたちを追い出してしまったり、農作物を荒らしたりしています。例えば、アカミミガメというカメは、日本にもともといたイシガメやクサガメの居場所をうばってしまいます。もしも、外来生物を飼っている、または飼う予定があるのなら、最期までしっかり面倒をみてください。絶対に野外に放してはいけませんよ。



太平中学校（科学部）

## 環境サポーターによる管理作業

## NPO 法人 教育ルネッサンスの生徒さんによる管理活動

10月28日、NPO法人教育ルネッサンスの生徒さんが、環境サポーターからの指導のもと、外来生物のセイタカアワダチソウの抜き取り作業を行いました。木道の脇をよく見ると、新しく生えてきたセイタカアワダチソウの若い芽がたくさん。竹の棒を使い、若い芽を根っこごと取り除きました。こうした地道な作業がミツ又沼ビオトープの貴重な自然を守っているのです。



# 三ツ又沼ビオトープで出会える生きものたち

要注意外来生物：外国から持ち込まれ、生態系に悪い影響を及ぼす恐れのある生きもののこと（環境省指定）  
RDB：絶滅危惧種が掲載されているレッドデータブックのこと

## セイタカアワダチソウ

要注意外来生物



### 【時期】一年中

もともとは北アメリカの自然に生える、高さ 0.5~3m になる植物。まとまって生えるので、三ツ又沼ビオトープに本来生える植物が育つ場所をうばってしまうことが心配されている。

## マガモ

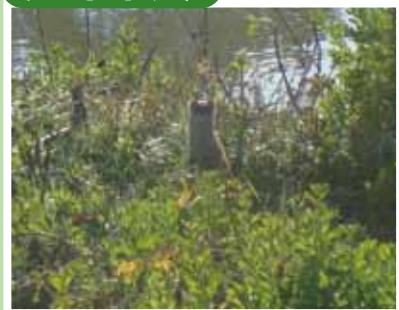


### 【時期】9~5月

冬鳥で日本よりも北の国から訪れる。緑色の頭に、黄色いくちばしがオス。メスは、茶色の地味な姿をしている。冬に結婚し、春に子育てをしに、一緒に北の国に向かう。

## ホンドイタチ

埼玉県 RDB  
地域別危惧



### 【時期】一年中

日本にしかいない固有種。早朝や夕方、活発に活動し、ノネズミやノウサギ、カエルなどを食べる。三ツ又沼ビオトープの木道には、ときどき、小指くらいの太さのフンが落ちている。

## 野遊び教室 鳴らしてみよう ドングリ笛！

三ツ又沼ビオトープで、足下をよく見てごらん。たくさんのドングリが落ちているよ。落ちているドングリを拾って、ドングリ笛を作ってみよう！

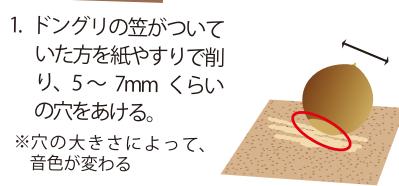


### 用意するもの

ドングリ、つまようじ（あるいはくぎ）、紙やすり



### 作ってみよう！



1. ドングリの笠がついていた方を紙やすりで削り、5~7mm くらいの穴を開ける。

※穴の大きさによって、音色が変わる



2. つまようじを使って、中身を全部ほじくりだす。



3. 下唇にあてて、息を強く吹きかけると音ができるよ。



### メモ

- ドングリは、いろいろな生きものたちがご飯にしています。とりすぎないように気を付けてください。
- 始める前に、ドングリに穴があいていないか確認をしてください。また、水にドングリを入れて、浮かんできたら、そのドングリはゾウムシの幼虫などのゆりかごになっています。元の場所にもどしてあげましょう。

## 【三ツ又沼ビオトープへ行こう！】

上尾市と川越市、川島町のさかい目ににある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。ここでは、荒川の自然が大好きな人たちと国土交通省が一緒になり、自然をより良くする作業や「荒川の自然って大切だよね！」と、人々に伝える活動をしています。いつでも、だれでも自然に親しむことができます。

## 【環境サポーター大募集！】

自然を守る作業や自然学習の指導をする「あらかわ市民環境サポーター」を募集しています（荒川上流河川事務所にて登録）。

地域の自然を守るためにには、地域の方の力が欠かせません。自然が好きな方、荒川が好きな方、体を動かしたい方、いろいろな人と交流したい方、ご連絡をお待ちしています！

